

第77回（平成27年度第6回）番組審議会議事録

1. 開催日時：平成28年3月18日（金）午前10時00分～11時30分

2. 会場：西宮市職員会館 第2中会議室

3. 委員の出席： 委員総数：7名
出席委員数：6名

放送事業者側出席者 代表取締役社長：1名
技術・管理部長：1名
顧問：1名
西宮市広報課長：1名

4. 議題

番組内容についての審議

「宮水学園教養講座」

平成28年3月15日 火曜日 20:30～22:00 放送分

5. 議事概要

社長より、開催に当たっての挨拶と放送事業者側の出席者を紹介した。事務局より委員総数7名中6名の出席で審議会は有効に成立している旨の報告がなされた。

その後議題に沿って各委員から意見を戴き、必要に応じて放送事業者側が説明・回答しながら進められた。

6. 審議内容

(1) 番組の審議

委員長：聴いて戴いた番組について質疑応答に入ります。お感じになった事を忌憚なく発言願いたい。

委員：番組審議会で宮水学園がどういったものかを知りました。もう少し宮水学園や講師紹介をして欲しかった。西宮市に縁のある有名人にまつわる話をするのだということは分かりました。1人の有名人の話だけでなく、いろいろな方の説明や住んでいた場所・歴史などが分かって、とても興味深い内容でした。家族も何気なく聴きながら、いろいろな意見を言っていたのを見ると、面白かったのだと思います。しかし、いつも家族で面白おかしくテレビを見たりしている時間と比べると、ラジオから流れてくる講演を聴くのはとても淋しい時間でした。この番組がこの時間に流すのに適切な時間なのでしょうか？土日の朝などなら、ゆっくりと聴けるかとも思います。予定の時間より短く1時間で質問コーナーとなり会場の笑い声がしています。常に会場とのやり取りがあるならもっと面白かったのだと思います。気がつけばノンストップで1時間強が経ちました。CMも無かったのでちょっと疲れました。もうひとつ、さくらFMの電波が自宅では入りにくい。ネットで聴かないといけないコミュニティFMっていったいどうなんだろう？と素朴な疑問です。ネットで聴く場合には災害時のお知らせはどうなるのだろうか、災害時こそネットで聴けるほうがいいのか？いろいろ疑問に思いました。

委員長：では、他に意見はありますか？

委員：著名人の紹介をされましたが、湯川さんしか知りませんでした。

委員長：これは、ふるさと講座なので大学交流センターだったのですか？普通はアミティホールでの開催だと思いますが？

事務局：年に数回、放送に出来ない回は山口町などの別の講座を録音して放送しています。

委員：宮水学園は、地区で場所が違うんですか？

事務局：地域講座として、塩瀬地域・山口地域講座があります。他の講座は選択コースによって、フレンテ西宮・西宮市大学交流センター・勤労会館などで開催されています。

委員：宮水学園は、出席して卒業とかになるのですか？

事務局：規定回数出席された方には、修了証書を渡されています。選択コースは各個で参加されていますが、教養講座は全員参加の必須とされています。この放送は、その教養講座の内容をお送りしています。

委員長：私は一度、教養講座を担当したのですが、そのときは夙川公民館だったと思います。すごい数の参加者がおられました。

委員：ラジオを聴くのに資料がないと判り難い。講師の先生も早口で聴き取りにくかった。

事務局：会場ではスクリーンに映したり、紙資料もあつたりとして分かると思います。ラジオだと何も無いので伝わりにくい部分がある。後ほどラジオ放送する旨をお伝えして、なるべくこの写真ではなく言葉にして頂く様をお願いしている。

委員：今回「宮水学園教養講座」を審議対象に選ばれた理由は？

事務局：ここ最近、審議にかけていなかった。私の担当番組でもあつたのが理由です。

委員長：ラジオ特性なので、どうしようもないのですが、絵がないと分かりにくいし伝わりにくいですね。

委員：講座のときに意見や質問とかはないのですか？

事務局：当日はなかったです。

委員長：私の担当の時でも、まず無いですね。

委員：塩瀬地域講座にも収録に来て欲しかったですね。

事務局：今回は無かったです、あるときは収録にも伺ってます。

委員：宮水学園は男女比どのような方々が多いのですか？

事務局：60歳以上の方を対象にされていて、正確な数字はわかりませんが女性が多いです。

設 楽：放送を聴かれる方は？

事務局：正確なことはわかりません。

委員：時間帯は、その年代の方がこの時間帯でいいのかな？と思います。60歳以上の方が、この時間にラジオをつけて聴いてもらえるのか？メモを取りながら聴くとか当日の資料を見ながら聴くのであれば、この時間なのかなと思います。

事務局：一応、そのような想定でこの時間に流しています。

委員：受講される方には、時間割や内容は配布されているのですか？

委員長：入学するときに年間スケジュールなどを配布されると思います。以前私は芸術講座を大学交流センターで担当しましたが、50~60名の生徒さんで年間スケジュールを考えてしていました。

事務局：来年度は、すでにホームページにも情報が載っています。その中にスケジュールとかも記載されています。

顧問：実際に放送を聴いていて、放送時間は90分ですよね。90分間じっと聴いているのはしんどい。この放送は実際70分程度で、その後20分ほどは音楽を流していた。そんなに音楽流す余白があるのだったら、講師紹介をするべき。タイトルが2回出てくるが、講師紹介が無く分からない。会場に配られている資料には書いているのかと思うが、それを実際にナレーションで補足録音しなくてはならない。それと60分ジッと聴いているのは苦痛なので、30分に一度くらいは止めて前半の復習や後半の案内をするなど、ブレイクタイムを入れると分かり易い。ラジオを聴いている人は資料を持ってないので、ブレイクタ

イムに5分くらいおさらいするのがいいのではないか。NHK とかのラジオ講座でも、みんなしんどいと言うのはジッと聴いているのが辛いんです。民放でのCM タイムは、業界用語では「トイレタイム」と言われている。サッカーなどのスポーツ中継では間にCMを入れるが、みんなトイレに行ってしまうのでスポンサーが付きにくい。そのくらいブレイクタイムは大事。この放送もブレイクタイムを取り入れて、聴き続ける人はこのまま聴いてもらって、休憩の方はちょっと伸びをするなど5分程度休憩するのもいいのではないか。それと、この講座を実際に聴きに行くにはどうすればいいのかというコメントもない。他に「ラジオ講座」の番組紹介などや、他の講座案内を入れて放送してはどうか？90分を有効に使えるようにして、リスナーが聴きやすいように講師紹介や資料説明などを入れる工夫をすればいいのではないか。講義形式のものを、そのまま流すのではなく間に補完説明するなどすればいいと思う。あと放送時間も審議に上がっていたが、朝早い方がいいのではないか。放送時間が平日の夜8時30分ではちょっと聴きにくいのではないか？

事務局：以前は翌水曜日の朝に再放送していた記憶もあるのですが、現在はこの時間になっています。

顧問：あまりいい時間ではないので、もうちょっと検討してみはてはどうか。制作そのものも、宮水学園の講座で作成してもらうなど工夫してみてもいいのではないか。

事務局：放送時間の件ですが、今回の放送は総タイム70分でした。これは講演内容でどうしても放送できない部分を切り落としたので70分になりました。他の回では100分を超える回もあります。講演途中で切る訳にはいきませんので、サービスで延長放送しています。その辺もあり今回は放送時間が短かったのですが音楽放送に切り替えました。

委員：番組以外のことになりますが、今の60歳代は昔と違って元気な方、能力を持っておられる方が多いので、仕事じゃなくても今までの経験を元に、地域貢献できていると実感できるような生涯学習であれば、ラジオ番組編集などの講座があるのもいいと思う。文科省のページにも書かれていますが、他の地域でされているようです。そういう風にもう少し編集があったほうが面白い。あと同じ話にもなりますが、講師説明でも文化プロデューサーと聴いても何の事かわからなかった。お話を聴く中で、市民オペラや歌劇を専門にされているのかな、歌も歌われるのかなと断片的に情報を繋ぎ合わせて、そういうプロデューサーの方なんだと理解しました。これから話す方がこんな技能や特技を持った方で、どんな話が出るのか楽しみですねという振りが欲しかったですね。

委員：背景目的があって、この番組をしますよって所がないので時間帯や内容でぶれている感じがする。番組の目的やターゲット層などをガッチリ決めて、例えば夜なら学生が勉強しながら聴ける番組があったり、そういう目的や聴いて欲

しい対象を決めてやるのがいいのではないか。

社長：この局が出来て3月26日で丸18年。私が社長に着任して3年5ヶ月となりました。皆さんの辛らつなご意見を骨身に感じて聞いています。私がここに来て経営は良くなっているのですが、番組を良くしていつてさくら FM いいな面白いなと言ってもらえるようにならないといけない。理想は24時間生放送できるくらいの力をつけないといけない。平日8時から夜9時くらいまでは放送しているが、土日はまだまだ空いている。中身や編成の全体的なビジョンを持って番組を作りこまないといけない。今後番組をどうして行くかは、大きな課題で、ご意見を頂きながら工夫していきたい。

委員長：他に意見はありませんか？

広報課：参加者への放送周知はされているのですか？

事務局：教養講座の終了後に、放送日程をお知らせしております。

委員：西宮の課題は、住んでいる市民が西宮のことをあまり知らないこと。そういう意味では西宮の魅力を伝えるというのは面白い。若い世代の意見では、水木しげるくらいしか分からないので、聴いていても面白くない。若い方には受けないと思いました。

委員長：この番組は、宮水学園の方がターゲットだと思いますが。

事務局：しかし電波で流れている以上は、一般の方も聴いて戴けます。その辺は今後考慮したいと思います。

委員：タイトルは先生がつけられるのですか？

事務局：宮水学園の事務局が作成されていますので分かりません。

委員長：私の経験では、担当する講師が出すんです。どういう内容で、どういうタイトルでと。それで作成していると思います。

委員：学者や建築家や芸術家など講義だからか区切りがザックリとしたタイトルだったなと思った。自分の講演でもそうですが、サービス精神が旺盛な先生は、直前にアレもこれもとタイトルにズレが出てくるのでは？

委員長：宮水学園は6月から始まる。そのためには3月までには翌年の分もタイトルを出さないといけない。一年先のことまで考えて出さないといけない。

委員：ラジオだけで手元資料が無い場合は、講師紹介で講義内容に関して、例えばこんな人物が西宮に居たなどの前振りがあると、聴く準備もできると思った。

顧問：当初は河内さんの講演ではなかったんじゃないですか？ホームページとは内容が違ったので。

事務局：年に数回、学園祭や映画鑑賞などの回は、別の録音を放送しています。

顧問：講演者によっては、紙面に載せることや録音も禁止される方がおられる。著名な方は講演録などで出版されることもある。最初の交渉で放送しますよって言うときがある。著作権の問題もあると思う。

委員長：他にご意見はありますか？

委員：名塩でラジオが聴きにくいと言われる方があった。

社長：北部は畑山送信所から 6.5w で送信している。北部は地形的理由から生瀬や名塩は電波の入りにくい箇所もある。対策もありますが、金の問題もあります。今は難聴地域対策としてスマホでも聴けます。課題認識もしています。補助制度もありますので今後は検討したい。あと毎月 17 日の 17 時には緊急告知ラジオのテスト放送もしています。やはり電波の入りにくい地域もあります。

事務局：緊急告知ラジオの購入の方ですと、サポート致しますのでご連絡下さい。

委員：分かりました。

事務局：緊急告知ラジオですが、この 4 月に新型機種に変更します。従来は AM 放送は聴けなかったのですが、今回から AM 合わせて計 12 局を聴いて頂けることになりました。補助金制度も引き続きありますので、よろしくお願いします。

議長はその他の意見がないことを確認し、審議会を閉会する旨を述べ社長は、閉会にあたっての挨拶を行った。なお、次回審議会は平成 28 年 5 月 20 日、会場と審議番組は後日改めて連絡する旨を確認し、議長は午前 11 時 30 分に閉会を宣した。議事の経過を明確にするため、議事録を作成し委員長及び出席委員の記名押印をする。

7. 審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表の内容、方法

近畿総合通信局への提出が完了しだい

「さくら FM」のホームページ <http://sakura-fm.co.jp/> にて掲載。

平成 28 年 3 月 18 日
西宮コミュニティ放送株式会社